

九州ルーテル学院大学

2022年度

後期公開授業受講生募集

九州ルーテル学院大学の授業を体験してみませんか？

公開授業科目名 「キリスト教と文学」 募集人数 10名程度 受講方式 オンライン

受講期間 : 2022年9月～2023年3月

受講料 : 5,000円(15回の授業分)(単位の認定は行いません)

受講に際しての確認事項

1. インターネット環境が整っている。(データ通信量は無制限が望ましい)
 2. パソコンやタブレット等受講ができる環境が整っている。
 3. パソコンの基本操作ができる。
(文字入力、添付ファイルのダウンロード、インターネットの検索、メールの送受信など)
 4. 受講に当たっての以下のルールを順守できる。
- ※受講生は、授業担当教員及び本学関係者の指示に従うとともに、授業を妨害するような行為をしてはならない。

申込について

申込期間 2022年9月12日(月)～9月21日(水)

※期間後の申込につきましてはご相談ください。

申込方法 (次の①、②より選択してください。)

①下記URL又はQRコードから、氏名、連絡先等を入力する。

<https://forms.gle/9UafPVeDGNeEAaNm7>



②裏面の公開授業申込用紙を記入の上、FAXにて申し込む。

※応募多数の場合は、先着順とします。

※受付完了後、受講のための資料をメール又は郵送にて送付いたします。

※今後の新型コロナウイルス感染の状況により、日程等が変更になる可能性があります。

※個人情報等については、本学の規程に基づき、本事業のみ使用し、事業終了後破棄いたします。



お問い合わせ

九州ルーテル学院大学

研究・地域連携推進室

〒860-8520

熊本市中央区黒髪3丁目12-16

TEL : 096-343-1600

FAX : 096-343-0354

E-mail: manabu@klc.ac.jp

公開授業の内容

キリスト教と文学(全15回)

個としての人間の内面の表白である芸術活動は、神への従順を前提とする宗教とは相反する志向性を持っているように思われている。ゆえに文学と宗教というテーマは並列的に論じられる傾向にある。しかしながら傑作といわれる文学作品は常にその背後に宗教性を備えているのも事実である。そこで本講では文学とキリスト教の関連を考察する中で、その接点の所在を探ってみたい。

講義	講義内容	講義	講義内容
1	キリスト教とは？文学とは？ 「日本語になったキリスト教の言葉」より	9	三浦綾子「氷点」1
2	キリスト教とは？(2) 物語「三本の木」より	10	三浦綾子「氷点」2
3	キリスト教的世界観とは ラーゲルレーブ「むねあかどり」より	11	三浦綾子「氷点」3
4	日本文学とキリスト教1 トルストイ「靴屋のマイルツィン」より	12	遠藤周作「沈黙」1
5	日本文学とキリスト教2	13	遠藤周作「沈黙」2
6	CSルイス「ライオンと魔女」1	14	遠藤周作「沈黙」3
7	CSルイス「ライオンと魔女」2	15	総復習
8	CSルイス「ライオンと魔女」3	16	

講師紹介

金戸 清高(かねと きよたか)

1987年 関西学院大学大学院博士課程後期課程満期退学(文学修士)

日本キリスト改革派熊本教会会員

主に日本文学、児童文学、キリスト教文学を研究

著書等 「日本文学とキリスト教—二つの前提—」「ふるさと文学館」第50巻解説(共著)

『門の世界—漱石的<罪>の意味—』『福永武彦とキリスト教—「草の花」論への序章—』

「宮沢賢治『銀河鉄道の夜』論—物語テキストと終末論との関わりについて—」

『「建学の精神」考』(共著)等

FAXでお申込みの方は、こちらをご利用ください。

公開授業申込用紙

科目名		キリスト教と文学
必須	氏名(ふりがな)	
	氏名(漢字)	
	連絡先	
	E-mail	
備考		